

参加者募集！「食」について考えるオンラインイベント 「WORLD FOOD NIGHT 2022 with 横浜」開催！

10月の食品ロス削減月間・「世界食料デー」月間に、資源循環局では、「世界食料デー」月間2022*と共催で、「フードロス～「もったいない」の先を考えよう」をテーマにオンラインイベントを開催します。

「フードロス」を起点に、世界の飢餓、気候変動、日本のフードシステムなどについて、それぞれの分野に精通している3名の方からお話をうかがいます。インタビュアーを務めるのは、日本や世界の食料問題について学んできた高校生・大学生です。

フードロスをめぐる社会・環境の課題を知り、一緒に「もったいない」の先を考えてみませんか？

※ 「世界食料デー」月間2022とは：日頃から飢餓や食料問題の解決に向けて様々な活動を行っているNGO/NPOや国連機関などで構成される団体です。

1 日時

10月7日（金）19時～20時30分

2 開催方法

リモートシステム「Zoom ウェビナー」を用いてオンラインで実施

3 定員

450名

4 参加費

無料（要事前申込）

5 参加方法及び申込期限

以下ホームページか二次元コードから事前にお申込みください。

<https://docs.google.com/forms/d/1qKj1LM1tWf67NECWKKNQm2v2jNt9ZUrJ0Mvm1dfYBW0/>

10月7日（金）13時まで。定員になり次第受付終了。

6 プログラム

- (1) 学生インタビュアーからの課題提起
- (2) 登壇者へのインタビュー
- (3) 参加者から学生・登壇者への質疑応答
- (4) グラフィックレコーディングの共有



7 登壇者

(1) 国連食糧農業機関 (FAO) 駐日連絡事務所長

日比 絵里子氏

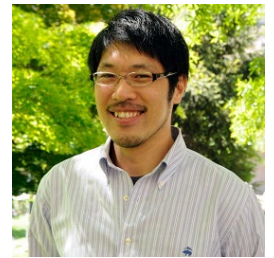
国連食糧農業機関 (FAO) 駐日連絡事務所長。兵庫県神戸市出身。上智大学法学部で法学士、英国レディング大学大学院で国際関係学修士号、米ワシントン DC ジョンズホプキンス大学大学院 SAIS でも国際関係学修士号を取得。卒業後、銀行や新聞社勤務を経て、1995年4月に国連人口基金 (UNFPA) ニューヨーク本部で JPO として採用。アジア局アフリカ局での勤務の後、UNFPA ウズベキスタン事務所 (中央アジア5カ国担当) に副所長として赴任。アフガン危機を受けてタジキスタンからアフガニスタンへの越境支援も実施した。UNFPA 本部人道支援局、アジア太平洋地域事務所での経験を経て、2010年にFAO本部戦略企画室にシニア・オフィサーとして出向異動。本部勤務2年後、紛争下のシリア事務所長を3年半勤めた。その間、シリア国内において、国内避難民、受け入れ地域、反政府占領地域住民、遊牧民などと対象とした幅広い人道支援活動を実施した。2016年9月にサモア独立国アピアにてFAO大洋州事務所長として着任。生活習慣病や肥満の蔓延に直面する大洋州14カ国を対象に、より栄養に配慮した食料システムを構築貢献に努めた。2020年9月より現職。



(2) コンサベーション・インターナショナル・ジャパン 代表理事

日比 保史氏

兵庫県芦屋市生まれ。甲南大学理学部卒業、デューク大学環境大学院修了。野村総合研究所、国連開発計画 (UNDP) を経て、2003年4月より国際NGOコンサベーション・インターナショナル (CI) 日本プログラム代表。2010年よりCI本部バイスプレジデントを兼務。2011年の一般社団法人化に伴い、代表理事に就任。生物多様性保全を通じた持続可能な社会づくりを目指し、国際機関、政府、企業等とのパートナーシップ構築に取り組み、特に途上国における貧困削減に資する生物多様性保全の在り方、気候変動と生物多様性の関連性、自然資本管理、企業の環境CSRなどを専門とする。



(3) オイシックス・ラ・大地株式会社 コーポレートコミュニケーション部 部長

大熊 拓夢氏

2005年、長期インターンシップ生としてオイシックス(株)へジョインし、社長の業務サポートや、スイーツ専門サイト「Okasix」副店長としてECサイトを運営。08年、オイシックス(株)に新卒入社。同年より広報担当となり、パブリシティを中心に、テレビ、新聞、雑誌などの取材対応を行う。

12年広報室長に就任。「大地を守る会」「らでいっしゅぼーや」との経営統合に関する広報業務などを経験。18年からは社会課題の解決を推進するソーシャルコミュニケーションの責任者に就任。



お問合せ先

資源循環局 3R 推進課長 津島 邦宏 Tel 045-671-2563